

認知症に関する活動

機関・団体名	公益社団法人 宮城県看護協会
活動内容	<p>《 28 年度の取り組み 》</p> <p>【普及啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県民向け情報紙「Kango のひろば」を活用し啓発 特集「認知症とともに生きる」 ○市民公開講座開催 「認知症とともに生きる」142 人 「認知症の早期診断・早期治療のススメ」2 か所 44 人 <p>【看護職への研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般研修 「認知症患者を理解する」 135 人 「地域とつなぐ認知症ケアパスの意義と活用」46 人 ○看護職員認知症対応力向上研修 3クール(3日間) 341 人 インターネット活用 3クール(2日間) 245 人 <p>《 29 年度の取り組み予定 》</p> <p>【普及啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民公開講座開催 「認知症予防と対応について」(若林区) 10月21日(土) <p>【看護職への研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般研修 「パーソン・センタード・ケア」9月5日(火) ○看護職員認知症対応力向上研修 市内3クール(3日間) 6月～9月 県内3クール(3日間) 7月～10月
活動に際しての課題	<ul style="list-style-type: none"> ○機会ある毎に、市民に対して老いること・認知症について自分がどうしたいか等の啓発が必要。 ○様々な分野にいる看護職の横の連携 県内12支部単位(仙台市内4支部)看護管理者のネットワークづくり ○多職種協働でそれぞれの職種の専門性を生かした関わり方の検討